

平成30年7月5日

平成30年度第1回八王子市多文化共生推進評議会 資料3

八王子市多文化共生推進プランに基づく取組み状況

平成25～29年度

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実
└ 施策のテーマ1 多言語等による情報提供の充実

└ 施策No.1 行政情報、各種申請書の多言語化

【施策概要】行政情報、各種申請書の翻訳を進め、多言語による情報提供の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
外国人のためのくらしの便利帳	外国人市民のためのくらしの便利帳（英語、中国語、韓国・朝鮮語）の配布	16	⇒	⇒	⇒	→	→	→	外国人のためのくらしの便利帳（英語、中国語、韓国・朝鮮語）の作成・配布及び内容の見直し。	H29年度 ○取組み数 37 ・新規取組み数 2 ・充実取組み数 4 各所管において、行政情報、各種申請書等の多言語化の取組みを進めている。
市・都民税の申告受付事務	市・都民税申告書記入例の多言語化	29				☆	→	→	英語、中国語、韓国・朝鮮語に対応した市・都民税申告書の記入例を作成。必要に応じて申告窓口で利用・配付を行った。	
家庭用ごみ・資源物カレンダー外国語補助冊子の作成	家庭用ごみ・資源物収集カレンダー補助冊子を作成。	18	→	→	→	⇒	→	→	従来の英語、中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語の6か国語に加えて、新たにベトナム語、ネパール語、カンボジア語の3か国語を作成し、計9種類の家庭用ごみ・資源物収集カレンダーの補助冊子を作成した。 （作成部数 合計 9,000部）	
公園パンフレットの多言語化	一部の公園のパンフレットを多言語版を作成・配布	26	☆	⇒	⇒	⇒	⇒	→	・長池公園のパンフレットの英語、韓国・朝鮮語版の作成・配布 ・市内の一部の大学等に駒木野庭園のパンフレット（英語、中国語、韓国・朝鮮語）やイベント案内（英語）を送付し、校内へ掲示した。	
ユニバーサルデザインガイドラインの改定	ユニバーサルデザインについて、ガイドラインの改定を行うが、改定版では、新たに外国人への情報の伝え方及び外国人のイラストの表現方法を取り入れ、全ての人に分かりやすい印刷物が作成できるよう、全庁的に取り組んでいく。	29				☆	→	→	ユニバーサルガイドラインの改定を行うにあたり、「八王子市における印刷物等ユニバーサルデザインガイドライン庁内検討会」を設置し、多文化共生の観点を含め、検討を行った。	
図書館ホームページの多言語化	平成30年4月の図書館システム更新に合わせ、図書館ホームページを刷新し、google自動翻訳機能を利用し英語、韓国・朝鮮語、中国語対応にした。	30				▲	☆	→	図書館システム及びホームページの構築・更新	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実
└ 施策のテーマ1 多言語等による情報提供の充実

└ 施策No.2 多言語による窓口対応、相談事業の充実

【施策概要】多文化共生推進事業協力員や八王子国際協会の語学ボランティアによる通訳のほか、多言語シートやICT技術等の活用により、多言語による窓口対応等の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
多文化共生推進事業協力員	外国語のできる職員の登録・通訳バッチの着用	15	→	→	→	→	→	→	随時、外国語のできる職員の募集・登録を行っている。 登録者：87人（H29年度）	H29年度 ○取組み数 11 多文化共生推進事業協力員や八王子国際協会の語学ボランティアによる通訳のほか、各所管でICT技術等の活用を検討している。
多言語通訳業務の委託契約	外国人住民に対して円滑な窓口対応ができるよう、多言語通訳業務を実施	25	→	→	⇒	→	→	→	市民課や各事務所等に来庁、または電話での問い合わせのあった外国人住民に対して円滑な対応ができるよう、電話による多言語通訳を委託で実施した。 （平成29年度実績 45件）	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実
└ 施策のテーマ1 多言語等による情報提供の充実

└ 施策No.3 語学ボランティア等の育成と活用

重点

【施策概要】市役所窓口や在住外国人サポートデスクのほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの国際的なイベント等においても語学ボランティア等が活躍できるよう支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
外国人サポートデスク	外国人サポートデスクにて必要に応じて語学ボランティアを活用	16	→	⇒	⇒	→	→	→	語学ボランティアが外国人サポートデスクで相談に応じることができるように研修を実施し、外国人サポートデスクに配置している。（延べ76人） 中国語語学ボランティアを配置は水曜日PM（H29.10月以降は月曜日AMも配置）	H29年度 ○取組み数 18 ・充実取組み数 1 ・新規取組み数 1 年々増加しているが、外国人市民の増加や2020オリンピック・パラリンピックに向けて、登録者を増やす必要がある。
IFSCボルダリングワールドカップ八王子2017での外国語通訳配置	左記大会において、多言語対応のために、八王子国際協会に通訳を委託	29				☆	→	→	IFSCボルダリングワールドカップ2017大会において、英語・中国語等の言語通訳を、八王子国際協会に委託し、50名程度の通訳を派遣し、大会運営を円滑に行った。	
外国人おもてなし語学ボランティア育成講座	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、外国人観光客等が安心して滞在できる環境を整えるため、「外国人おもてなし語学ボランティア」を育成しています。	27		☆	→	→	→	→	英語初級者向け：3回 108人 英語上級者向け：1回 48人	
外国人おもてなし語学ボランティアの集い、交流会	外国人おもてなし語学ボランティア育成講座修了者等を対象とした交流会を実施	28			☆	⇒	→	→	外国人おもてなし語学ボランティアの集い、交流会の実施 計6回 168人	

- 基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
- └ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実

└ 施策のテーマ1 多言語等による情報提供の充実

└ 施策No.4 案内表示の多言語化

【施策概要】市の施設や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて多言語案内表示重点地区に指定された八王子駅周辺地域等の多言語案内表示の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
ユニバーサルデザイン ガイドラインの改定	ユニバーサルデザインについて、ガイドラインの改定を行うが、改定版では、新たに外国人への情報の伝え方及び外国人のイラストの表現方法を取り入れ、全ての人に分かりやすい印刷物が作成できるよう、全庁的に取り組んでいく。	29				☆	→	→	ユニバーサルガイドラインの改定を行うにあたり、「八王子市における印刷物等ユニバーサルデザインガイドライン庁内検討会」を設置し、多文化共生の観点を含め、検討を行った。	H29年度 ○取組み数 7 ・新規取組み数 2 ・充実取組み数 2 英語併記を中心に案内表示を進めている。
JR八王子駅及び京王八王子駅周辺における案内サインの改善	東京2020大会を見据え、多言語化や連続性の確保、表示内容の統一化に向けた検討を行い、案内サインを改善する。	29				☆	→	→	平成29年10月30日、『駅まち会議』（八王子駅・京王八王子駅周辺案内サイン等検討分科会）を立ち上げ、分科会を2回開催し、現状調査結果を会議で共有するとともに、基本ルール（案）の提示を行った。	

- 基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
- └ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実

└ 施策のテーマ1 多言語等による情報提供の充実

└ 施策No.5 やさしい日本語の普及と活用

重点

【施策概要】「やさしい日本語」の普及啓発に努めるとともに、マニュアルの作成及び職員研修等により、行政情報の提供や窓口対応等における「やさしい日本語」の活用を推進する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
公園の案内表示の「やさしい日本語」表記	外国人市民向けに、マナー看板やコーションサインへ「やさしい日本語」表記	29				☆	→	→	外国人市民向けに、マナー看板やコーションサインへ「やさしい日本語」表記を追加	H29年度 ○取組み数 2 ・新規取組み数 1 「やさしい日本語」のマニュアルの作成に向け情報収集をしている。
やさしい日本語講座	市民向けにやさしい日本語講座を実施	27		☆	→	→	→	→	やさしい日本語講座を1回実施 テーマ：外国人にわかりやすい日本語を伝えよう！ 参加者：30人	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実
└ 施策のテーマ2 日本語学習支援

└ 施策No.6 日本語学習支援者の育成と活用

【施策概要】日本語学習支援を実施するボランティア団体等と連携し、日本語学習支援者の育成及び活動機会の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
日本語ボランティア養成講座	日本語ボランティア養成講座の実施	20	→	→	→	→	⇒	→	日本語ボランティア養成講座の実施 受講者数：95人（基礎講座：29人、ステップアップ講座：27人、続ステップアップ講座：39人）	H29年度 ○取組み数 1 日本語学習支援者数が増えるよう、ボランティア団体と連携し、実施している。

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実
└ 施策のテーマ2 日本語学習支援

└ 施策No.7 外国人市民向け日本語学習機会の提供

【施策概要】市内で開催する各種日本語学習教室の場所や日時等を配慮し、外国人市民が学びやすい環境を整備するほか、市内外問わず日本語学習教室の情報提供の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
日本語教室	外国人支援団体等による日本語教室	不明	→	→	→	→	→	→	外国人支援団体等による日本語教室（延べ831回） 日本語教室への延べ参加者数：6,038人	H29年度 ○取組み数 2 市内外問わず日本語学習教室の情報を提供できるよう情報収集に努める。
外国人のための日本語教室	学習支援課による外国人のための日本語教室の実施	H2 頃	→	→	→	→	→	→	外国人のための日本語教室の実施 クリエイト（木曜日夜間コース） 22回実施、延べ受講者数229人 クリエイト（金曜日午前コース） 32回実施、延べ受講者数637人 南大沢分館（水曜日夜間コース） 22回実施、延べ受講者数122人	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実
└ 施策のテーマ3 外国人市民の社会参加

└ 施策No.8 外国人市民のネットワーク活性化

【施策概要】八王子国際協会が外国人市民、日本人市民のコミュニケーションの場としても機能するよう周知するとともに、イベントの実施、情報提供の充実、キーパーソンの育成等によるネットワークの活性化を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
コミュニティグループの構築	Facebookを活用し、コミュニティグループを結成	25	⇒	⇒	→	→	→	→	facebookを活用し、言語別の6つのコミュニティグループを構築し、活用した。 ※平成25年度は、中国語、韓国・朝鮮語、平成26年度は、スペイン語、英語（フィリピン）、H27年度は、ベトナム語、英語のグループを構築。	H29年度 ○取組み数 6 コミュニティグループ参加者数 中国語：52人 韓国・朝鮮語：19人 スペイン語：47人 英語（フィリピン）：21人 ベトナム語：18人 英語：39人 計：196人 （H30.3.31現在）
交流会・研修会の実施	各コミュニティグループへの参加促進イベントや交流イベントを開催	25	→	→	→	→	→	→	コミュニティグループへの参加促進イベントを開催した。 （5回、延べ85人）	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実
└ 施策のテーマ3 外国人市民の社会参加

└ 施策No.9 外国人市民の社会参加の支援

重点

【施策概要】外国人市民の能力を活かしたボランティア等社会活動への参加を促進するとともに、外国人市民が日本人市民とともに主体的に社会参加できる環境を整備する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
国際交流フェスティバル	日本人と外国人との交流を通じて、お互いの習慣や文化に対する理解を深め、地域の多文化共生を図ることを目的に国際交流フェスティバルを実施	11	→	→	→	→	→	→	来場者数：1,350人 協力外国人数：100人（15か国）	H29年度 ○取組み数 7 外国人が企画・運営にも参加出来るよう支援を検討する。
世界の人とのふれあいタイム	外国人が自国の歴史、文化などを映像や音楽などを交えて紹介する「世界の人とふれあいタイム」を実施。	16	→	→	→	→	→	→	5回実施（中華人民共和国、パプアニューギニア独立国、ドイツ連邦共和国、タイ王国、オーストラリア連邦） 参加者数：延べ306人	

- 基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
- └ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実

└ 施策のテーマ3 外国人市民の社会参加

└ 施策No.10 外国人市民の町会・自治会等への加入促進

【施策概要】町会・自治会等に関する情報の多言語化を進めるほか、町会・自治会とつながるきっかけを作り、町会・自治会への理解を深めることで、加入促進を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止											
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況	
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度			
外国人市民のための 「町会・自治会への加 入促進チラシ」	「町会・自治会への加入促進チラシ」の英 語、中国語、韓国・朝鮮語版を作成し、外国 人に対して町会・自治会への加入促進を図っ た。	25	⇒	→	→	→	→	→	引き続き配布した。	H29年度 ○取組み数 2	
地域行事への参加	町会・自治会などが実施している防災訓練や お祭りへの参加	不明	→	→	→	→	→	→	八王子まつり 4名 町会・自治会防災訓練参加者 14名 いちょう祭り 10名 みんなの川の清掃デー 4名	地域行事への参加が、町会・自治会 への加入につながっていない。 外国人市民に対し、町会・自治会の ことを知ってもらう必要がある。	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
 - └ 施策のテーマ1 教育

└ 施策No.11 帰国・外国人児童生徒等への情報提供

【施策概要】文部科学省が提供している「帰国・外国人児童生徒教育のための情報検索サイト（かすたねっと）」等を活用し、帰国・外国人児童生徒等への多言語による情報提供を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
学校入学前の就学案内の多言語による情報提供	外国人新入学児童・生徒の保護者への案内通知（小学校新入学案内通知・学校選択制案内通知・就学時健康診断通知・入学通知書）の多言語での通知。	18	→	→	→	→	→	→	外国人新入学児童・生徒の保護者への案内通知（小学校新入学案内通知・学校選択制案内通知・就学時健康診断通知・入学通知書）を多言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語計4言語）で通知した。 （小学校60件 中学校45件）	H29年度 ○取組み数 7 ・充実取組み数 1
「就学ガイドブック」の配布	文部科学省で作成している「就学ガイドブック」（多言語版）を保護者に配布し、日本の教育制度や受験制度について情報提供。	17	→	→	→	→	→	→	文部科学省で作成している「就学ガイドブック」（多言語版）を保護者に配布し、日本の教育制度や受験制度について情報提供。	帰国・外国人児童生徒やその保護者へ案内等は、多言語されているが、まだ一部にとどまっている。

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
 - └ 施策のテーマ1 教育

└ 施策No.12 帰国・外国人児童生徒への日本語による学習支援

【施策概要】帰国・外国人児童生徒が学校生活に適應できるよう、市及び教育委員会、ボランティア団体等が連携し、日本語による学習支援の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
北野学習支援教室	外国にルーツを持つ子どものための学習支援を行う北野学習支援教室実施。	21	→	→	→	→	→	→	北野学習支援教室（40回） 参加者数：21人 支援者数：25人	H29年度 ○取組み数 8 ・充実取組み数 1 ・新規取組み数 1 打越中学校に日本語習得のための初期指導教室を新たに設置したほか、支援者によるサポート時間を延長など対応の充実を図っている。
外国籍等児童生徒就学時支援者の派遣	来日して間もない児童・生徒で、日本の生活や言語などが全く理解できない場合の就学時に、母語を理解できる外国籍等児童生徒就学時支援者を任用し、在籍校に派遣。	4	→	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	・就学当初からの支援者派遣により、日本語の習得が充分でない児童・生徒の就学に対する不安を解消し、学校生活への円滑な適應を実現することができた。また、日本語の習得状況や学校生活への適應状況等に応じ、追加派遣を行った。 （支援児童生徒数：小学校39名、中学校10名）	
日本語の初期集中事業	来日して間もない、日本語が全くできない外国籍や帰国子女の中学生に対して、就学した直後に集中して日本語の指導を行い、円滑に学校生活に適應できるよう支援する。	29				☆	⇒	→	打越中学校に日本語習得のための初期指導教室を設置した。今後、初期指導教室の充実を図っていく。	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
- └ 施策のテーマ1 教育

└ 施策No.13 不就学の外国人児童生徒等への対応

【施策概要】多言語化した就学案内等を活用し、不就学の外国人児童生徒とその保護者への情報提供の充実を図る。

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
学校入学前の就学案内の多言語による情報提供	外国人新入学児童・生徒の保護者への案内通知（小学校新入学案内通知・学校選択制案内通知・就学時健康診断通知・入学通知書）の多言語での通知。	18	→	→	→	→	→	→	・外国人新入学児童・生徒の保護者への案内通知（小学校新入学案内通知・学校選択制案内通知・就学時健康診断通知・入学通知書）を多言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語計4言語）で通知した。 （小学校60件 中学校45件）	H29年度 ○取組み数 6 学習支援教室やGinkgoなどで情報提供しているが、不就学の外国人児童生徒の実態は把握できてない。
広報、Ginkgoへの就学案内記事の掲載	広報及びGinkgoに、外国人児童・生徒の就学案内や就学援助制度に関する記事を掲載。	23	→	→	→	→	→	→	・広報4/15号、7/15号及びGinkgo5月号に、外国人児童・生徒の就学案内や就学援助制度について掲載することで、就学機会の確保を図った。	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
- └ 施策のテーマ1 教育

└ 施策No.14 帰国・外国人児童生徒の進路指導の充実

【施策概要】進学等に関する情報の多言語化や高校進学ガイダンス等による進路指導の充実を図る。

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
高校進学ガイダンス	外国にルーツを持つ子どもや保護者を対象に、高校入試制度等を説明する「日本語を母語としない高校進学ガイダンス」を実施。	22	→	→	→	→	→	→	「日本語を母語としない高校進学ガイダンス」を実施。 参加者数：37人 スタッフ：50人	H29年度 ○取組み数 5 就学ガイドブックを配布しているが、母国との制度の違い等により理解できていない場合がある。また、来日数が短い生徒の高校進学などは大きな課題がある。

- 基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
- └ 施策のテーマ2 医療・福祉
- └ 施策No.15 多言語で対応できる医療機関の情報提供

【施策概要】多言語対応可能な医療機関のリストを作成し、外国人市民が自ら適切な医療機関を選択できる体制を構築する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
多言語対応可能医療機関の情報提供	多言語対応可能医療機関を検索できる東京都医療機関案内サービス“ひまわり”のご案内、一部医療機関の多言語対応状況の紹介。	25	→	→	→	→	→	→	市民からの問い合わせがあった場合、多言語対応可能医療機関を検索できる東京都医療機関案内サービス“ひまわり”の案内、医療機関の多言語対応状況の紹介を行った。	H29年度 ○取組み数 1 東京都医療機関案内サービス“ひまわり”の案内をしている。

- 基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
- └ 施策のテーマ2 医療・福祉
- └ 施策No.16 外国人にもわかりやすい医療・福祉・子育て情報の充実

【施策概要】医療・福祉制度や子育てなどに関する情報の多言語化や「やさしい日本語」の活用を促進し、情報提供、窓口対応の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
市ホームページ及びメール配信サービスによる休日対応医療機関の情報提供	市ホームページ及びメール配信サービスによる休日対応医療機関の情報提供	26	☆	→	→	→	→	→	多文化共生推進課が行っている多言語ホームページ、モバイル版ホームページ、メール配信サービスによる休日対応医療機関の情報提供を行った。（月1回）	H29年度 ○取組み数 17 多言語の問診票やパンフレット等を活用し、情報提供を行っている。
外国人市民を対象にした検診情報の提供	「八王子市検診ガイド」を多言語化し、医療機関などにて配布。	26	☆	→	×	×	☆	→	平成29年度は多言語での作成無し	
予防接種ガイド	予防接種ガイドを多言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）で作成。保健所、保健福祉センター、多文化共生推進課にて配布。	27		☆	×	×	☆	→	平成29年度は多言語での作成無し	

- 基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
- └ 施策のテーマ2 医療・福祉
- └ 施策No.17 外国人患者への多言語対応の充実

【施策概要】医療通訳ボランティアへの研修やICT技術等の活用により、多言語対応の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
医療通訳ボランティア 研修会	医療通訳ボランティアのレベルアップを図る ために、医療通訳ボランティア研修会を実施	23	→	→	→	→	→	→	医療通訳研修会の実施（2回） 第1回テーマ：メンタルケアとロールプレイ 参加者：30人 第2回テーマ：医療通訳に求められる共通基準の講義 参加者：43人	H29年度 ○取組み数 5 東京都への広域医療通訳ボランティ ア派遣制度の構築を要望している。
医療通訳ボランティア の派遣	病院や外国人市民より依頼があった場合に は、医療通訳ボランティアの登録者を派遣	23	☆	→	→	→	→	→	医療通訳ボランティアを、病院や大学、外国人市民より依頼が あった場合に、通訳の派遣を実施。 医療通訳・翻訳件数：36件	
保健相談	健康、育児相談（随時） （各保健福祉センターで同内容実施）	24	→	→	→	→	→	→	地区担当保健師による訪問、電話、面接相談や、妊婦面談等で 個別に対応した。	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
└ 施策のテーマ3 住居

└ 施策No.18 多言語による暮らしに関連する情報の充実

【施策概要】生活上のルールや住居に関する基礎知識等の情報を多言語化するとともに、関係機関等と連携して外国人市民への効率的な周知を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
家庭用ごみ・資源物カレンダー外国語補助冊子の作成	家庭用ごみ・資源物収集カレンダー補助冊子を作成。	18	→	→	→	⇒	→	→	・従来の英語、中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語の6か国語に加えて、新たにベトナム語、ネパール語、カンボジア語の3か国語を作成し、計9種類の家庭用ごみ・資源物収集カレンダーの補助冊子を作成した。 （作成部数 合計 9,000部）	H29年度 ○取組み数 5 ・充実取組み数 1 外国人のためのくらしの便利帳で行政サービスや相談窓口の紹介を行っている。
市営住宅入居者への多言語パンフレットの配布	必要に応じ、多言語によるパンフレット等を提供した。	25	→	→	→	→	→	→	・外国人市民のための暮らしの便利帳を窓口に配備。 ・家庭用ごみ・資源物収集カレンダー補助冊子（多言語版）を配布。	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
└ 施策のテーマ3 住居

└ 施策No.19 外国人市民への入居差別の解消、居住支援

【施策概要】外国人市民が円滑に民間賃貸住宅に入居できる環境を整備するため、外国人であることを理由に入居を拒まない住宅の確保に取り組むとともに、入居の受入れにあたり賃貸人が抱く不安を解消するための入居支援を行う。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
外国人留学生住居賃貸代行保証料補助金制度	外国人留学生が八王子市で賃貸住宅を借り、保証人代行制度を利用した際の一部を補助	19	→	→	→	→	→	→	利用件数：20件	H29年度 ○取組み数 3 入居差別の解消および居住支援を継続していく。なお、平成30年度は住宅確保要配慮者向けの住宅確保相談会の開催を予定している。
居住支援協議会の設置・運営	住宅確保要配慮者（低額所得者、高齢者、障害者、子どもを育成する家庭、外国人その他住宅の確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進するため、不動産関係団体、居住支援団体と連携し、住宅情報の提供等の支援を行う。	27		☆	→	→	⇒	→	・住宅確保要配慮者向け賃貸住宅を「あんしん住宅」として、あんしん住宅情報提供システム上に登録し、八王子市居住支援協議会ホームページで公開した。（6件登録） ・住宅確保要配慮者の入居の相談に応じる不動産店を登録し、協議会ホームページで公開した。（14件登録）	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
 - └ 施策のテーマ5 防災

└ 施策No.20 外国人市民の就職・就業環境の改善

重点

【施策概要】事業者や関係機関と連携し、就職支援セミナー等の開催や外国人市民を採用した企業への支援等により、就職・就業環境の改善を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
外国人労働者ハンドブックの配布	東京都が発行した外国人労働者ハンドブックを配布	26	☆	→	→	→	→	→	引き続き配布した。	H29年度 ○取組み数 5 外国人労働者ハンドブックの配布や就職支援セミナーを開催しているが、ホームページ等での情報提供の充実を図っていく。
留学生のための就職支援セミナー	外国人留学生が日本で就職するために知っておくべきことを学ぶための「留学生のための就職支援セミナー」の実施	21	→	→	→	→	→	→	NPO法人留学生協会、地元企業社長等を講師に「留学生のための就職支援セミナー」を実施 参加留学生：16人	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
 - └ 施策のテーマ4 就労

└ 施策No.21 外国人就業者とその家族の支援

【施策概要】在住外国人サポートデスク等の相談窓口の充実を図るほか、関係機関等と連携し、就業者とその家族を支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
コミュニティグループの周知	八王子国際協会HPやチラシでのFBグループの周知活動	25	→	→	→	→	→	→	コミュニティグループについて、八王子国際協会HP、FBや各種イベント等でのチラシ配布などで周知活動を行った。	H29年度 ○取組み数 6 在住外国人サポートデスクにおいて、就労や就職相談を受け付けている。
在住外国人サポートデスク	外国人市民に関する生活相談や暮らしの情報提供を行う外国人サポートデスクの設置	16	→	→	⇒	→	→	→	外国人サポートデスクの設置 相談件数：1,087件 ・就職相談：16件 ・就労相談： 6件	

- 基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
- └ 施策のテーマ5 防災
- └ 施策No.22 災害時のわかりやすい情報提供

【施策概要】関係機関と連携し、災害時の情報提供方法の多様化や内容の多言語化を進めるとともに、「やさしい日本語」を活用した防災情報の提供を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
災害ヘルプカード・防 災マップ普及	多言語による災害ヘルプカード・防災マップ の配布	25	⇒	⇒	→	⇒	→	→	英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語に対応した災害ヘル プカードを改定し、2,000部作成・配布をした。 災害ヘルプカード等は市民部窓口、防災訓練、大学等にて引き 続き配布。	H29年度 ○取組み数 2 ・充実取組み数 1 災害ヘルプカードや多言語版防災ガ イドを作成・配布している。
外国語版防災ガイドの 作成、配付	地震に関する基礎知識や日頃からの備えを記 した、外国語版防災ガイドを作成し、窓口にて配付	25	→	→	→	→	⇒	→	英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、タガログ語、ポル トガル語で作成した外国語版防災ガイド引き続き配付した。	

- 基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
- └ 施策のテーマ5 防災
- └ 施策No.23 外国人市民への防災・災害対応に関する意識の啓発

【施策概要】新たに多言語版防災マニュアルを作成するほか、各種防災訓練への参加を促進し、防災・災害対応に関する知識を学ぶ機会の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
外国人市民の防災訓練 参加	外国人市民が総合防災訓練や町会自治会主催 の防災訓練に参加することへの支援	14	⇒	⇒	→	→	→	→	外国人市民に防災訓練への参加を促し、合計32人の外国人が訓 練に参加した。 町会・自治会防災訓練：15人、総合防災訓練：7人 立川防災館：9人、市民センター防災訓練：1人	H29年度 ○取組み数 4 ・充実取組み数 1
八王子市総合防災ガイ ドブック（多言語版） の作成、配布	八王子市総合防災ガイドブック（英語、中国 語、韓国・朝鮮語）の作成、配布						☆	→	平成29年度は事業無し 平成30年度には八王子市総合防災ガイドを英語、中国語、韓 国・朝鮮語を作成する。	外国人市民の防災意識が高まるよ う、啓発パンフレットの活用や継続的 に訓練への参加を支援していく。

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
 - └ 施策のテーマ5 防災

└ 施策No.24 災害時における外国人支援の仕組みの整備

【施策概要】災害時外国人支援マニュアルの見直し等、外国人支援の仕組みの検証及び再整備を検討する。

記号説明 ☆：開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃止											
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況	
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度			
災害時対応マニュアル・多文化共生推進課	災害発生時に多文化共生推進課職員が迅速に行動出来るように「災害時対応マニュアル・多文化共生推進課」を作成	17	→	⇒	→	→	⇒	→	「災害時対応マニュアル・多文化共生推進課」の職員への周知	H29年度 ○取り組み数 9	
八王子国際協会災害時外国人対応要領	八王子国際協会の災害時対応について、「八王子国際協会災害時外国人対応要領」にて規定	24	→	→	→	→	→	→	市民センター避難所等開設訓練、語学ボランティア研修会や各種防災訓練を通じて語学ボランティアへ周知。	災害時の外国人支援の訓練を踏まえ、災害時対応マニュアル等の内容を更新していく。	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

- └ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
 - └ 施策のテーマ5 防災

└ 施策No.25 災害時の通訳ボランティアの育成・支援

【施策概要】外国人留学生などにもボランティアの登録を働きかけるとともに、登録者を対象とした研修等によるスキルアップを図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止											
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況	
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度			
防災訓練への参加	語学ボランティア等が外国人市民と共に町会・自治会による防災訓練や総合防災訓練に参加	25	→	→	→	→	→	→	防災訓練に語学ボランティアが参加 町会・自治会防災訓練：3人 総合防災訓練：7人 市民センター防災訓練：2人	H29年度 ○取り組み数 4	
災害時通訳ボランティア登録	災害時通訳ボランティアの募集、登録	23	→	→	→	→	→	→	災害時通訳ボランティアを随時募集 災害時通訳ボランティア：8言語39人 （平成30年3月末現在）	災害時の対応について、語学ボランティアへ周知していく必要がある。	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
└ 施策のテーマ6 外国人留学生

└ 施策No.26 外国人留学生への生活支援

【施策概要】在住外国人サポートデスクの利用促進や大学等担当者間の情報共有の充実など、大学コンソーシアム八王子や関係機関と連携し、外国人留学生への生活支援の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止											
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況	
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度			
外国人留学生住居賃貸 代行保証料補助金制度	外国人留学生が八王子市で賃貸住宅を借り、 保証人代行制度を利用した際の一部を補助	19	→	→	→	→	→	→	利用件数：20件	H29年度 ○取組み数 11 ・充実取組み数 2 大学コンソーシアム八王子などの関 係機関との連携を強めていく。	
外国人留学生支援事業	外国人留学生支援事業（留学生対策ワーキン ググループ会議及び勉強会、留学生座談会、 八王子まつり山車曳き体験、外国人留学生坐 禅・茶道体験会、車人形の観劇等）を実施。	25	→	→	⇒	⇒	⇒	⇒	留学生対応を行う大学職員向けの勉強会の充実等を図ってい る。 外国人留学生支援事業への参加者数：99名 ※平成28年度 112名		
地域との交流事業に奨 学金受給者の参加	地域との交流事業に奨学金受給者の参加を促 進	不明	→	→	→	→	⇒	→	外国人留学生による高尾山口観光案内所、みんなの川の清掃 デー、八王子まつり、いちよう祭り等によりボランティア活動 の実施（延べ参加者数：163人）		

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
└ 施策のテーマ6 外国人留学生

└ 施策No.27 外国人留学生への就職支援

重点

【施策概要】大学コンソーシアム八王子や関係機関との連携により、外国人留学生及び市内企業のニーズを把握し、市内での就職を希望する外国人留学生の就職を支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止											
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況	
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度			
留学生のための就職支援セミナー	外国人留学生が日本で就職するために知っておくべきことを学ぶための「留学生のための就職支援セミナー」の実施	21	→	→	→	→	→	→	NPO法人留学生協会、地元企業社長等を講師に「留学生のための就職支援セミナー」を実施 参加留学生：16人	H29年度 ○取組み数 3 市内中小企業や外国人留学生のニーズを調査し、事業を検討していく。	
留学生のための企業めぐり	外国人留学生が企業を訪問し、日本の企業の実態や良さを知ってもらうために「留学生のための企業めぐり」を実施	22	→	→	→	→	→	→	「留学生のための企業めぐり」を実施 ・訪問企業：日本水産（株）、大島椿本舗、オリンパス（株） ・参加留学生：8人		

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
└ 施策のテーマ6 外国人留学生

└ 施策No.28 外国人留学生の能力を活用した地域活性化

新規・重点

【施策概要】外国人留学生ならではの視点や能力を活かし、地域活性化につながる活動ができるよう支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
IFSCボルダリングワールドカップ八王子2017での外国語通訳配置	左記大会において、多言語対応のために、八王子国際協会に通訳を委託	29				☆	→	→	IFSCボルダリングワールドカップ2017大会において、英語・中国語等の言語通訳を、八王子国際協会に委託し、八王子国際協会、大学コンソーシアム八王子から50名程度の通訳を派遣し、大会運営を円滑に行った。	H29年度 ○取組み数 3 ・新規取組み数 1 平成30年度は、高尾山口観光案内所ボランティアを外国人留学生奨学金受給者の必須事業とし、全50名が通訳ボランティアを行うなど、ボランティア内容を精査していく。
外国人留学生による地域貢献活動	外国人留学生による地域貢献活動	不明	⇒	⇒	→	→	⇒	→	外国人留学生による高尾山口観光案内所、みんなの川の清掃デー、八王子まつり、いちよう祭り等によりボランティア活動の実施（延べ参加者数：163人）	
奨学金受給者の災害時通訳ボランティア活動制度	奨学金受給者に災害時の通訳ボランティアとして活動してもらうことを義務化	26	☆	→	→	→	→	→	奨学金受給者に災害時の通訳ボランティアとして活動してもらうことを支給条件としている。 総合防災訓練参加者（奨学金受給者）：4人 町会・自治会防災訓練参加者（奨学金受給者）：14人	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
└ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実
└ 施策のテーマ6 外国人留学生

└ 施策No.29 日本語学校に所属する外国人留学生の支援

新規

【施策概要】日本語学校に所属する留学生へアンケート調査を実施するなどにより実態を把握し、支援策等を検討する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
日本語学校へのヒアリング	市内日本語学校へのヒアリング	29				☆	⇒	▲	市内の日本語学校1校へのヒアリングの実施	H29年度 ○取組み数 1 ・新規取組み数 1
日本語学校に所属する留学生へのアンケート調査	日本語学校に所属する留学生へアンケート調査を実施、支援策を検討していく。	30					☆	▲	—	市内には3校の日本語学校がある。 H30年度に日本語学校に所属する留学生へアンケート調査を実施し、その後支援策等を検討していく。

- 基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
- └ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
- └ 施策のテーマ1 多文化共生意識の啓発
- └ 施策No.30 多文化共生意識啓発に関する事業の実施

【施策概要】多文化共生をテーマにした講演会、ワークショップや国際交流フェスティバルなどのイベント等を開催し、日本人市民の多文化共生意識の高揚を図る。

記号説明 ☆：開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃止											
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況	
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度			
国際交流フェスティバル	日本人と外国人との交流を通じて、お互いの習慣や文化に対する理解を深め、地域の多文化共生を図ることを目的に国際交流フェスティバルを実施	11	→	→	→	→	→	→	来場者数：1,350人 協力外国人数：約100人（15か国）	H29年度 ○取組み数 6	
地域での防災訓練、お祭りへの参加	町会・自治会などが実施している防災訓練やお祭りへの参加	不明	→	→	→	→	→	→	町会自治会主催の防災訓練：14人 八王子まつり：7人 いちょう祭り：10人 みんなの川の清掃デー：4人 参加者総数：35人	市民へのアンケートでは、外国人市民が増えることに対して、生活環境が悪くならないか心配している人が約6割、なんとなく不安に思っている人が約3割いる。	
図書館での多文化共生をテーマにした展示	多文化共生推進月間において、図書館で多文化共生をテーマにした展示を実施	30					☆	⇒	—	平成30年度以降に設定する多文化共生推進月間に図書館での多文化共生をテーマにした展示を実施予定。	

- 基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
- └ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
- └ 施策のテーマ1 多文化共生意識の啓発
- └ 施策No.31 多文化共生を推進する市民の育成

重点

【施策概要】ワークショップ等を企画し、多文化共生を推進する市民を育成するとともに、外国人・日本人市民が主体的に活動を行える環境を整備する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止											
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況	
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度			
日本語ボランティア養成講座	日本語ボランティア養成講座の実施	20	→	→	→	→	⇒	→	日本語ボランティア養成講座の実施 受講者数：95人（基礎講座：29人、ステップアップ講座：27人、続ステップアップ講座：39人）	H29年度 ○取組み数 4	
外国人キーパーソンの育成	フェイスブックを利用した外国人コミュニティに係る外国人キーパーソンの育成	25	→	→	→	→	→	→	コミュニティグループへの参加促進イベントを開催し、参加外国人へフェイスブックグループでの情報交換を促した。	日本語ボランティア養成講座等の実施を八王子国際協会に委託し、日本語ボランティアの育成を行っている。	

基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
└ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
└ 施策のテーマ1 多文化共生意識の啓発
└ 施策No.32 多文化共生意識啓発期間の設定

新規

【施策概要】多文化共生意識への理解を深めるため、多文化共生意識を啓発する期間を設定し、イベントの集中実施、ポスター掲示などを行う。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
多文化共生推進月間の 設定	多文化共生意識啓発期間を設定し、ポスター の掲示やイベントの集中実施を行う。	30						☆	—	H29年度 ○取組み数 0 【多文化共生意識啓発に関する主な事 業（H29年度）】 7月：海外友好交流都市写真展 11月：八王子国際交流フェスティバ ル 2月：多文化共生講演会

基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
└ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
└ 施策のテーマ2 国際理解・国際協力
└ 施策No.33 国際理解の推進

重点

【施策概要】オリンピック・パラリンピック教育や国際理解教育の実施に加え、世界の文化に触れる機会を創出し、国際理解の推進を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
世界の人とふれあいタイム	外国人が自国の歴史、文化などを映像や音楽などを交えて紹介する「世界の人とふれあいタイム」を実施	16	→	→	→	→	→	→	5回実施（中華人民共和国、パプアニューギニア独立国、ドイツ連邦共和国、タイ王国、オーストラリア連邦） 参加者数：延べ306人	H29年度 ○取組み数 16 ・充実取組み数 2 小中学校での国際理解教育の実施件数が少ない。
学校における国際理解教育	小中高校における国際理解教育の実施	18	⇒	→	→	→	→	→	小中学校での国際理解教育 実施件数：4件、316人	
小中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、オリンピック・パラリンピアンへの派遣や世界ともだちプロジェクトなどを実施し、小中学生に豊かな国際感覚を身に付させる。	28			☆	⇒	⇒	⇒	オリンピックの派遣：小学校4校、中学校2校 パラリンピアンへの派遣：小学校3校、中学校1校 世界ともだちプロジェクト 全校	

基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
└ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
└ 施策のテーマ2 国際理解・国際協力
└ 施策No.34 国際協力団体等との連携による国際協力及び啓発

【施策概要】国際協力団体や大学等と連携し、開発途上国等を支援するとともに、国際協力活動や倫理的（エシカル）消費の啓発活動等の周知を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
倫理的（エシカル）消費の啓発	フェアトレード商品の購入など、人や社会・環境に配慮した消費行動を推進するため、倫理的（エシカル）消費関連の各種啓発活動を実施する。	29				☆	→	→	・広報はちおうじ消費生活特集号発行 ・中学生向け消費者教育副読本作成 （フェアトレード商品を含む倫理的（エシカル）消費の啓発）	H29年度 ○取組み数 3 ・新規取組み数 2 国際協力団体や大学等の関係団体との連携を図っている。
太平洋島嶼部におけるごみ問題改善～ミクロネシア・ Chuuk州での協働型2R推進プロジェクト～	JICA草の根技術協力事業のもと、平成29年度～平成31年度にChuuk州ウェノ島のごみ問題解決に向けて、①2R（リデュース・リユース）普及啓発、②収集・車両整備の改善、③生ごみの自家処理の仕組み作りの取り組みを行う。	29				☆	⇒	⇒	11月に現地へ職員を派遣し、現地機関との協議を行うとともに、ごみ処理状況を把握した。 また、本事業について広報やホームページで周知を行ったほか、協力大学である創価大学にて講義を行った。	

基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
└ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
└ 施策のテーマ3 外国人観光客等へのおもてなし

└ 施策No.35 外国人観光客等への観光案内

重点

【施策概要】関係機関と連携し、海外へのPR、多言語による観光情報等を充実するとともに、外国人市民や外国人留学生、語学ボランティア等を活用した観光案内の体制を構築する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
高尾山口観光案内所での留学生による通訳ボランティア	外国人留学生奨学金受給者を中心に高尾山観光案内所にて通訳ボランティアを実施	27		☆	→	→	⇒	→	7月から10月の土日祝日を中心に高尾山観光案内所にてボランティアを実施 参加者：延べ34人	H29年度 ○取組み数 11 ・充実取組み数 4 外国人観光客等への情報提供を充実させるため、外国人留学生との協力などを検討していく。
諸外国への観光PR	都の東京都観光財団を通じて、アジア等各国に外国語版観光ガイドマップ等を送付し、本市への誘客を実施	25	→	→	→	⇒	⇒	⇒	・横田基地での独立記念祭、JRの台湾PR、ツーリズムEXPOジャパンや東京観光情報センター等でQRコード付観光扇子等を配布した。 ・関東観光広域連携事業推進協議会において、市場調査とモニターツアーを開催し、外国人の動向・趣向を捉えた。	
多言語対応スタッフの配置	高尾山口駅前に「高尾山口観光案内所」も開設し、多言語対応できるスタッフを配置。	27		☆	→	⇒	→	→	八王子インフォメーションセンター及び高尾山口観光案内所にて、多言語情報の取得できるタッチパネル式のデジタルサイネージやモニターによるコールセンターサービスの支援を活用した対応を行った。	

基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
└ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
└ 施策のテーマ3 外国人観光客等へのおもてなし

└ 施策No.36 おもてなしマインドの推進

新規

【施策概要】観光施設や商店街等における外国人観光客対応を支援し、外国人観光客へのおもてなしマインドを推進する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
中心市街地おもてなし通信環境の整備	JR八王子駅を中心として外国人観光客を含めた来街者の利便性を向上するため、Wi-Fi環境を整備し、中心市街地内お店情報等を多言語で発信する。	28			☆	→	→	→	新たにJR八王子駅北口のインフォメーションセンターへWi-Fiを設置し、その周辺での利用環境を向上させた。	H29年度 ○取組み数 1 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人おもてなし語学ボランティアの育成を行っている。 ・商店街のチラシやメニュー等を多言語化し、外国人観光客や外国人市民の商店街の利用を促進する。
商店街の振興	増え続ける外国人観光客に向け、飲食店、小売店のメニューやPOPの多言語化等を進めるほか、商店街イベントへの外国人の参加を促す。	30					☆	→	—	

基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
└ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
└ 施策のテーマ3 外国人観光客等へのおもてなし
└ 施策No.37 国際的なビジネスイベントへの対応

新規

【施策概要】国際的なビジネスイベント等の受入に必要な事業者間の連携体制を構築する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
IFSCボルダリングワールドカップ八王子2017での外国語通訳配置	左記大会において、多言語対応のために、八王子国際協会に通訳を委託	29				☆	→	→	IFSCボルダリングワールドカップ2017大会において、英語・中国語等の言語通訳を、八王子国際協会に委託し、八王子国際協会、大学コンソーシアム八王子から50名程度の通訳を派遣し、大会運営を円滑に行った。	H29年度 ○取組み数 1 ・新規取組み数 1
MICEの推進	外国人市民や外国人留学生を活用したMICEボランティアの登録、派遣体制の整備	30					☆	→	—	東京都が計画している「産業交流拠点（仮）」の整備にあわせ、事業者間の連携体制の構築を進めている。

- 基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
- └ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
- └ 施策のテーマ4 海外友好交流都市等との交流
- └ 施策No.38 海外友好交流都市との交流

【施策概要】海外友好交流都市に関連したイベントを通じて各都市の魅力を周知するとともに、各都市との活発な交流を促進する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
海外友好交流事業補助	海外友好交流都市との市民交流が活発に実施されるよう、市民団体による交流に対し補助金を支給	19	→	→	→	→	→	→	・日中友好交流都市中学生卓球大会八王子派遣隊が日中友好交流都市中学生卓球交歓に参加 ・首都大学東京応援団女子チアリーダーチームが高雄ランタンフェスティバルに参加	H29年度 ○取組み数 8 ・充実取組み数 1
海外友好交流都市への観光ツアー【観光コンベンション協会】	海外友好交流都市への観光ツアー 【観光コンベンション協会】	25	→	→	→	→	⇒	→	引き続き、高雄市ランタンフェスティバルへの観光ツアーを行った。 参加者数：24人	平成29年7月に新たにドイツ・ヴリーツェン市と友好交流協定を締結した。八王子観光コンベンション協会では、平成30年度にヴリーツェン市への観光ツアーを計画している。

- 基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
- └ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
- └ 施策のテーマ4 海外友好交流都市等との交流
- └ 施策No.39 青少年による文化・スポーツ等の海外交流事業の推進

【施策概要】海外都市とのスポーツ、文化、音楽等の青少年交流事業を継続して行っていくほか、インターネット等の活用により、多種多様な交流事業を推進する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止										
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
台湾・高雄市とのパフォーマンス団相互派遣	八王子まつり及び高雄ランタンフェスティバルでのパフォーマンス団の相互派遣	18	→	→	→	→	→	→	八王子まつりには、高雄市から中華芸術学校の生徒によるパフォーマンス団が派遣された。 高雄ランタンフェスティバルには、八王子市から首都大学東京応援団女子チアリーダーチームを派遣した。	H29年度 ○取組み数 4 青少年の海外交流を引き続き支援する。平成30年度は、ヴリーツェン市学生交流事業を実施予定。
青少年海外派遣事業	海外友好交流都市に青少年を派遣し、スポーツ交流を通じて友好を深める。	19		☆	→	→	→	→	海外友好交流都市（高雄市）に中学生16人（引率者を除く）を派遣し、テニスによる交流のほか、現地での授業を通じた交流により友好を深めた。	
ドイツ・ヴリーツェン市学生交流事業	ドイツ・ヴリーツェン市との若い世代の交流を推進し、国際理解を図るため、高校生、大学生等による海外でのホームステイ交流を行う。	30					☆	→	—	

- 基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現
- └ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進
- └ 施策のテーマ4 海外友好交流都市等との交流
- └ 施策No.40 市民・民間団体等の海外交流事業の支援

【施策概要】市民団体や民間企業を対象に、経済、文化、スポーツなど様々な分野での海外交流を継続的に支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止											
主な事業名	事業内容	スケジュール							H29年度の事業実績	現在の状況	
		開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度			
海外交流支援デスク	海外友好交流都市との市民交流が活発に実施されるための相談窓口として海外交流支援デスクを設置	19	→	→	→	→	→	→	海外交流支援デスクでの市民交流支援（派遣） 調整件数 3件 参加者数 82人	H29年度 ○取組み数 6	
海外交流事業支援	市民団体における海外交流事業支援	不明	→	→	→	→	→	→	・JICAボランティア表敬訪問 ・ラボ国際交流センター表敬 ・ドイツ・ヴリーツェン市へ千羽鶴を送付 ・台北・台中商談会、台中展示会	平成29年7月に新たにドイツ・ヴリーツェン市と友好交流協定を締結し、市民交流が進んでいる。	